

アマビエ 21 からのお告げ



一) 陽性判定者はすなわち感染者ではないのじゃ

さて、深く呼吸を整え、頭を柔らかくして考えてみるがよい。

まずは、PCR検査に陽性反応≠感染者 ということを書いておくぞ。

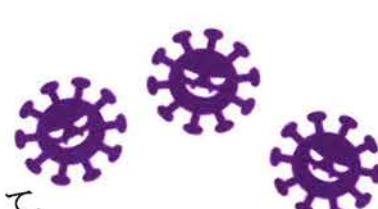
そなた達は、コロナという言葉に、やたらに恐怖心を煽られてしまっておるのじゃ。

昨今、無症状の感染者とやらがいっぱい出てるのう。わしも無症状の感染者であるかもしれぬぞ。また症状が出て軽いやつと聞く。死亡率は季節性のインフルエンザよりも低いのじゃ。恐れることはないではないか。「未知のウイルスだから恐ろしい！」とな？ 世の中に未知の物は星の数ほどあるであろう。知らない物にいちいち怯えるのか？ 未知の物を受け入れるがよいぞ。

そのように恐ろしいウイルスのはずが、「感染しても無症状」などは、おかしいではないか？ 普通は、×××菌であろうと、△△△ウイルスであろうと、体内に悪性の異物が侵入すれば、発熱や嘔吐、じん麻疹など強い症状が出るはずじゃ。体は異物を嫌って外に出そうとするはずなのだ。されど、新型コロナウイルスに感染しても無症状の者が多いということは、違和感がない訳じゃ。違和感がないということは、前々から、その者の体の中に宿っていたということなのではないのか？ ヒトは皆、何かしらコロナ属のウイルスを体内に住まわせているはずなのじゃ。

「そんな？ これは新型コロナウイルス (COVID-19) ですよ！」という声が聞こえてきそうだのう。新型と旧型の違いを見た者はおるのか？ おー、テレビのニュースでよく映し出されておるあの突起の付いた丸いやつか。あれは一般的なコロナ属ウイルスの電子顕微鏡写真じゃが、「これが COVID-19 です」と注記されておるものを見たものはおるのか？ 面白いのう。写真をそれと思いこんでおる。誰も新型を見ておらんのだ。研究者も医者もそなた達もわしも？

そもそも、そのコロナウイルスを検出するPCR検査とやらは確かなものなのであろうかのう？ PCRと言う言葉ばかりが先行して、いったいどんな検査やら？ ニュースでは、こちらの方はあまり取り上げられんもの。何人感染しました」と人数ばかりが報道されるのも不思議じゃのう？ わしはこの検査があやしいと密かに思っておったのじゃ。アマビエ 21 のお告げに耳を傾けてみんか！



二) PCR検査とはなんぞや？

PCR検査の本当の名は『ポリメラーゼ連鎖反応検査』と言うて、Polymerase Chain Reaction の頭文字を取ったものなのじゃ。ポリメラーゼとは、DNAやRNAの遺伝子情報の複製を助ける酵素の名前じゃ。遺伝子は鎖のようなDNA (デ・ヌクレオチド・リボ核酸) の二重螺旋構造になっているという話は聞いたことがあるであろう。綿棒で人の鼻の粘膜からとった一本線のRNA (リボ核酸) 上にコロナウイルスはあるのだが、その状態では発見するのは不可能なのじゃ。そこでポリメラーゼ酵素を使って、RNAをもう1本複製して二重螺旋のDNAにする。その鎖を2つに切断し成長させる。さらに切断成長させ、同じことを10回繰り返すと約1,024本の同一DNA鎖ができる。20回繰り返すと1,048,576本、30回で10億本、40回で1兆本とポリメラーゼ酵素を使って増やすのじゃ。その中からコロナウイルスを見つけ出すのじゃ。そんなに増幅して出てこないわけがない。COVID-19ではなくとも、コロナ属の相似形のものほども陽性と出てくるということになるのじゃ。

アデノウイルス (風邪ウイルス) やインフルエンザウイルスにも陽性反応が出るらしいぞ。中には、日和見ウイルスというもおるそうじゃ。だから、陽性になった者が治療で陰性になり、再度陽性になることもあるのじゃ。さらに、PCR検査は偽陽性も陽性として数えておる。PCR検査の誤判定率は、50%~70%とも言われているのじゃ。そんな大雑把な検査なのじゃが、いかんせん、世界中が信じて疑わないというのもアンビリーバブルな話とは思わぬか？

発明者のキャリー・マリス博士自身が、「PCR検査は感染症の診断には使わないように」と遺言しておるのじゃ。無症状の者が恐怖心に襲われ、進んでPCR検査を受けようなどと言うのはもつての他じゃ。検査数が多ければ多いほど、陽性者は増える仕組みになっておるのじゃ。PCR検査を続ける限りコロナ禍は収束しないぞ。そなたの恐怖心から出た行動は、他者の恐怖心を増幅し、社会の恐怖をも大きくすることになるのじゃ。陽性反応=感染ではなく、今まで違和感無く体の中に宿ってくれていた、ありがたいコロナ属の常在ウイルスかもしれんもの。だから感染経路不明者が多くおるのじゃ。ヒトは多くの菌やウイルスのお世話になって生きておるのじゃ。除菌、消毒、殺菌、撲滅と次々排除していくと、己の免疫力を弱め、さらには社会全体の集団免疫も低下させて行くかもしれぬぞ。人類滅亡のシナリオを描きたいのかのう？

三) キャリー・マリス博士とは、どんな人物じゃ？

私がPCR検査を発明した Dr.キャリー・マリスです。

おかしな研究ばかりしていました。例えば、いろんな薬を調合して興奮剤を作り、女の子に飲ませて服を脱がせようとしてたり。

麻薬LSDをやっていました。悪い友人もいてノーベル賞の品格に合わないと思配もしました。

PCR検査ですか？彼女とのデートの最中にひらめいたのです。全くの思いつきですよ。

サーフィン大好き 大学もさぼって 研究もさぼって サーフィン さんまみたいな毎日 を過ごしていました

研究論文などほとんど書かず、PCR検査論文だけで1993年にノーベル化学賞を受賞した、一発屋です。

人もうらやむ女好き博士です。結婚4回 離婚3回 数多くの女性と関係を持ちました。

何であいつだけがノーベル賞なの？と、シータス社の共同研究者達からのブーイングにも耳を貸さず、サーフィンをしていました。

PCR検査の利権はアメリカのシータス社が持っていて、世界中で莫大に儲けています。Money, money, マネーですよ。

こんな私が発明したPCR検査です。ポリメラーゼ酵素を媒体にして、DNAの鎖を2の10乗倍、20乗倍、30乗倍と増幅していくのですよ。誤差が出ない訳ないでしょう！誤判定率は70%もあるのですよ。

エイズ (後天性免疫不全症) も HIVウイルスが原因ではなかった。でっちあげですよ。

ウイルス検査には絶対に使用しないようにと遺言まで残したのに……！ どうして、世界中で使っているのですかね？ インフルエンザウイルスやアデノウイルスなどや、ヒトの体内に常在していた、レトロなコロナ属ウイルスでも陽性と反応するのですよ

もしも、私が生きていたら、PCR検査がこんなにも広まらなかったはずですよ。私は、叫びたい。「PCR検査をやめろ！」と。

残念なことに 昨年、2019年8月6日 私は肺炎で急死しています。私の死を待ち望んでいかのように新型コロナ(COVID-19)が武漢から感染しパンデミックになりました。

マリス博士の 奇想天外な人生
ノーベル化学賞受賞者 キャリー・マリス 福岡伸一訳

私は、暗殺されたのかもしれない？ そういう説もあるのですが、「死人に口無し」です。 『マリス博士の奇想天外な人生』 福岡伸一訳 早川書房より

四) 「アマビエ 21 のお告げ」を信じる者は、恐怖から救われる

- 一、陽性とはPCR検査に陽性反応が出たということであり=コロナ感染者ではない。
- 二、PCR検査の誤判定率は50%~70%であり、常在ウイルスまでも検出してしまおう。
- 三、無症状なのに、不安に駆られ、PCR検査を進んで受けるべきではない。

さあ、新たな三みつつじゃ。これを受け取った者は、この三つを、三日以内に、あなたの愛する人、友人、知人の三人に伝えるのじゃ。さすれば、そなたはこのコロナ禍の恐怖から解放され、心穏やかになるであろう。己の愛に満ちた行動は、他者の愛をも増幅し、社会全体へ愛を広げることになるのじゃ。口述でもよいぞ。SNSでもよいぞ。「アマビエ 21 のお告げ」全文ならばなおさら、ありがたいぞよ。マスクを外して三みつつを叫ぼうではないか！

おー！ 合わせて書いておくぞ。
不安感に襲われて、我先にとワクチンのお先棒を担がぬことじゃ。普通は開発に数年かかるものを、半年や一年で矢のように進めておるものじゃ。治験も十分に行われているとは考えにくいもの。焦りて、今、接種すれば、年月がたとう間には、数年先に副作用が現れるかもしれぬぞ。
人工的に開発されたRNA遺伝子を注射針一本で体内に入れるのじゃ。そなた自身の体に入れてよいものかどうか十分に吟味するべきだとは思わぬか？ 過信は無用じゃ。調べてみい！
体の声に耳を傾けることじゃ。体が心地よいと思えるものは、受け入れるがよい。されど、己の不安感から求めたものは、さらなる不安感を引き寄せることになるかも知れぬぞ。覚悟せよ。
裏話じゃが、開発する側にも、採択する側にも、巨額なマネーが絡んでおると耳にするぞ！
「二〇二〇の禍福を呪いて、数年も前から仕組まれておった企て事かも知れぬ。われわれは、わざわざいとさくしゅのおもてなしをされておるのかもしれない？」と述べる聡明な者も中にはおる。

『はだかの王様』の国の民よ、目を覚まそうではないか！
あらゆるもののバイオテクノロジーが進み、ナノレベルや遺伝子レベルになればなるほど、人間本来の感性は鈍くなることに気付かされぬか？ 捏造されたパンデミックで恐怖心の奴隷にならぬことじゃな。無病息災。カルマの罠にはまらぬように祈るぞよ。

